



かかわ看護だより98

平成29年8月10日

平成29年7月31日現在 会員数
6,959名

- 保健師 192名
- 助産師 258名
- 看護師 6,296名
- 准看護師 213名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4
TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071
<http://kagawa-kango.com>
発行責任者／中村 明美



大崎ノ鼻からの瀬戸内海



まんのう町のひまわり畠

《目 次》

平成29年度公益社団法人香川県看護協会定時総会開催	2
保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能合同交流集会	3
平成29年度役員・推薦委員	3
平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員	3
新役員あいさつ	4
香川県知事に要望書を提出	4
受章者・表彰者のご紹介	5
2017年「看護の日・看護週間」記念講演	5
職能委員会活動方針	6
がんばれナース	6
支部活動	7
理事会報告 お知らせ	8



平成29年度 公益社団法人 香川県看護協会 定時総会開催



平成29年度公益社団法人香川県看護協会定時総会が6月11日（日）に開催された。

中村会長から公益社団法人としての活動方針の挨拶に引き続き、来賓の浜田恵造香川県知事、大西秀人高松市長、久米川啓香川県医師会長よりご祝辞をいただいた。続いて、福井トシ子日本看護協会会長の祝電が披露され、草間朋子日本看護連盟会長、阿部俊子衆議院議員、木村弥生衆議院議員、高階恵美子参議院議員、石田まさひろ参議院議員の祝電が紹介された。

議長団選出紹介後、審議事項3案と報告事項4項の審議・報告が行なわれた。

平成28年度事業報告（報告事項1）の報告に引き続き、第一号議案である平成28年度決算報告（案）及び監査報告が審議され、平成29年度日本看護協会通常総会報告（報告事項2）、平成29年度重点事業並びに事業計画（報告事項3）、平成29年度資金収支及び収支予算（報告事項4）が報告された。

報告事項3重点事業について、「各支部の看護職連携活動推進事業」「長期療養の生活者を支える訪問看護等の質向上対策事業」「NICU・GCUから退院する児の児童発達支援事業」「看護職の県内就業と定着の推進事業」「中小規模病院・施設等の労働環境改善事業（夜勤・勤務環境改善含む）」「継続教育の充実事業」「院内助産・助産師出向システム推進事業」「看護職能団体活動強化のための入会促進活動」「日本看護協会が推進する『看護師基礎教育4年制化への制度改革』活動」「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の普及活動」「日本看護協会が推進する『看護職の賃金モデル』導入活動」「准看護学校が持つ課題の共有活動」の12の事業が紹介された。

第二号議案として公益社団法人看護協会定款の一部改正、第三号議案として平成29年度改選役員及び推薦委員、平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出が行なわれた。

すべての議案と役員改選は賛成多数で可決され、定時総会は無事終了した。

総会の出席者569名（うち役員18名、議長団2名）、委任状5,554名、計6,123名（選挙管理委員5名除く）

記 広報出版委員 山下 薫



保健師・助產師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能合同交流集会



員会活動」、看護師職能Ⅰから「医療と介護連携検討会」「認知症ケア検討会」、看護師職能Ⅱからは「看取りガイドライン」改定に関する報告が行われた。

特に、28年度は日本看護協会の受託事業「子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業」の取り組みから、3職能それぞれの思考や視点を知ることができた。一方で、視点の違いが切れ目に繋がっていることもわかり、次年度は、切れ目ない支援のための継続看護の在り方について検討するとの報告があった。

3 職能合同による取り組みや、一堂に会しての報告会から、多職種の活動や役割の理解に繋がり、今後も継続した活動に期待したい。

記 広報出版委員 山下 薫

**平成30年度
日本看護協会代議員・予備代議員名簿**

平成29年6月11日定時総会での改選後
役員・推薦委員名簿
(平成29年6月11日現在)

(氏名に網掛けが入ってる方が、平成29年度定時総会において改選された方です)

新役員あいさつ



会長 中村 明美

3期目の続投をご承認いただき、改めて初心に返っています。微力であり力不足を自覚しています。ご承認いただいた皆さまの声に耳を傾けつつ、「今、私たちがやらなくてはならないことは何か」をご相談しつつ、「覚悟」して「挑戦」を続けたいと思います。

看護の道を切り拓いてくださった先輩諸姉からバトンをもらった私たち、看護の未来に夢と希望を見つつ、後輩にどんなバトンを渡せるか、ご一緒に努力します。

私は、看護師基礎教育4年制への制度改革こそが看護師の資質向上への道と思っています。自己陶冶なくして看護はできません。深い人間愛に根ざした看護専門職を育てるために、年限のみならずカリキュラムの検討等々たくさんの課題があるのも承知です。この基礎教育と並んで特定行為のできる看護職養成、ナースプラクティショナー養成等の役割拡大を同時進行しなくてはなりません。長い道のりかもしれません、専門職として、制度の確立、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開は、今を生きる私たちの役目です。県協会としては、看護研修の質を高めます。特に新人教育、実習指導者講習会、看護管理者教育、看護研究に力点をおきます。

とても盛りたくさん活動だと想いますが、看護職の皆さまの看護協会への入会が大きな力になります。新会員情報管理体制への戸惑いがあるのでしょうか。やっと昨年の会員数に達したところです。複雑な手続きについては、香川県看護協会へご一報ください。ご説明、ご支援いたします。お一人でも多いご入会をお待ちいたしています。



新役員紹介

後列左から

第1支部理事
赤松美智代

第5支部理事
埴岡康恵子

第6支部理事
三宅 弘恵

全支部理事
矢野 太一

看護師職能II理事
井上 香里

看護師職能I理事
白井眞奈美

前列左から

監事
細川 克美

専務理事
野上 典子

会長
中村 明美

副会長
三村 真吏

常任理事・保健師職能理事
田中 邦代

常任理事
三原由紀美

副会長 香川県立中央病院
三村 真吏

平成29年6月に新役員として就任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。中村会長の下、公益社団法人香川県看護協会の重点事業「地域包括ケアにおける看護の機能強化」「看護職の労働環境整備の推進」「少子超高齢で活躍する人材育成」「看護政策について熟知し、政策実現活動に参画」への取り組みを推進すべく、役員の一人として役割が果たせるように努力いたします。皆さまからの意見をお待ちしています。

監事 香川大学医学部附属病院 細川 克美

医療環境が激変し、新しい医療政策が矢継ぎ早に具体化される中、平成29年度、監事を拝命し身が引き締まる思いです。監事の役割を理解して、業務監査と会計監査を行い、役割を遂行し協会活動に貢献していきたいと思います。どうぞ、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

6月27日に香川県知事に要望書を提出しました。

香川県立保健医療大学大学院保健医療学科研究科 看護学専攻(博士後期課程)設置について

少子超高齢社会を迎えて、地域包括ケアシステムの進行とともに、ますます看護職への期待が大きくなっている。そこで、看護学の探求とともに実践現場の変革の必要性から香川県立保健医療大学大学院保健医療学科研究科 看護学専攻(博士後期課程)設置を待ち望んでいる。

受章者・表彰者のご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

叙勲

瑞宝単光章



元香川井下病院
看護部長

岩田 輝子 様

瑞宝単光章



独立行政法人労働者健康安全機構
香川労災病院 看護部長

埴岡康恵子 様

◆ 公益社団法人
日本看護協会長表彰



元香川県立中央病院
看護部長

池田 哲代 様

◆ 憲法記念日 知事表彰



元国家公務員共済組合連合会
高松病院 看護部長

吉田 福子 様



元小豆島町立内海病院
看護部長

坂本 幹枝 様

2017年「看護の日・看護週間」記念講演

テーマ：「年を重ねるほど 幸せになる生き方」

講 師：柴田智子先生（ソプラノアーチスト、昭和音楽大学・ファンエイジング講師、二期会会員
ジュリアート音楽院に学ぶ）



5月14日（日）ソプラノアーチストの柴田智子先生をお迎えして「年を重ねるほど
幸せになる生き方」と題して「看護の日・看護週間」記念講演会が開催されました。参
加者は看護学生を含め302名でした。

前半、先生の幼少期から様々な挫折を乗り越えた体験をもとに、人生の中で感じたこ
とやどう生きていくべきかを話された。音楽をするために親の反対を押し切ってニュ
ーヨークに渡ったこと、同時多発テロを目の前で見て、
衝撃を受けたこと、ご自身の乳がんを克服したことなど
様々な体験を話された。そのような中から困難な時
ほど人を思いやることができることに気づき、人に依
存しないこと、やりたいことはあきらめない（チャン
スは必ずやってくる）。固定観念を持たず自分で判断す
ることが大切で、困難な時ほどポジティブに考えて行
動していくことが、ファンエイジングに生きていく生
き方に繋がると話された。

後半、実際に発声の仕方を教えていただき、みんな
で「翼をください」を大合唱した。また、会場の学生
より「臨地実習で受け患者さんと良いコミュニケーションを取るためにどうしたら良いか。」という質問
に、「患者さんを知って、相手の興味のあることを糸口に、少しづつ進めて行ったらいいのではないか。」
と返された。

2017年「看護の日・看護週間」記念行事

主催 公益社団法人香川県看護協会



結びに柴田先生がアカペラで、ア
ーメージンググレイスを歌ってくださ
り、参加者全員の心にしみわたった
ひと時でした。

記 広報出版委員 木村 恵子

平成29年度 職能委員会活動方針

保健師職能委員会

委員長 田中 邦代

医療・介護の分野において、地域包括ケアシステムの構築と推進に向け様々な取り組みがされています。そのような中、時代のニーズに応えられる保健師活動体制の推進と人材育成に取り組みたいと考えています。

日本看護協会の受託事業「子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業」について、昨年度の結果を踏まえ、切れ目ない支援のあり方について今年度も4職能協働にて取り組みます。また、人材育成として保健指導ミーティング、ファシリテータ研修等を開催することにしておりますので、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



今年度から4職能として頑張ります！

看護師職能委員会Ⅰ

病院領域

委員長 白井眞奈美

日本看護協会 看護師職能委員会Ⅰ 病院領域では今年度の活動のひとつに、変化する医療体制に応じた看護師長への支援・教育に関する情報提供・課題発見を挙げています。香川県看護協会 看護師職能委員会Ⅰ 病院領域でも、県内病院の現状把握・情報共有・課題発見に取り組みたいと考えています。また、各施設における在宅療養への取り組み状況について情報共有しながら、病院で働く看護師としての課題抽出を行って参ります。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

看護師職能委員会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長 井上 香里

医療提供体制の変化や地域包括ケアシステムの推進に伴い、医療ニーズを併せ持つ重度要の介護者が施設や在宅で増加傾向にあります。そのため、私たちには、最期まで住み慣れた地域で自立した療養生活とその人生を全うすることへの支援がより一層求められています。このニーズに対応するため、今年度は①看取りケアの質向上②看護管理者の質向上を目的に研修会・交流会を開催する予定ですので、ご支援・ご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

連載 がんばれナース 第11回

ベテランナースの休日の過ごし方

私のリフレッシュ法

香川県白鳥病院 谷本 千鶴

仕事と家事と介護を私なりに行っているつもりが、いつしか日々の繰り返しでストレスが溜まっていると感じます。そこで休日は非日常的なことを行うことで心身ともにリフレッシュすることができます。また私生活が充実していると仕事に対しても前向きに取り組むことができます。

「石鎚山のお山開きに一緒に行く」と珍しく子供たちから誘いがあり、「行くよ」と、うきうき気分で出かけましたが7月1日は女人禁制のため入山できず、あらためて2日に長男の運転する車で出かけました。標高1982メートル、西日本最高峰の山頂には厳しい鎖場や急な石段を登り、眼下に雲海を見ながら到着、山頂で記念写真を撮りました。時々ホラ貝の音が聞こえ、御神体を背負った白装束の参拝者が行き交う中、参道では「お下りさん」また「お上りさん」と沢山の人と挨拶を交わし、苦しかった登山も元気を貰って無事下山して帰路に着きました。次は大山登山にチャレンジです。まだまだわくわくが続きます。



子離れ準備中

坂出聖マルチン病院 櫻庭 佳代

坂出聖マルチン病院緩和ケア病棟に就職して1年が経とうとしています。それまで9年間、訪問看護に携わっていた私にとって40歳を過ぎてからの病院への再就職は大きなチャレンジでした。ゼロからのスタートで正直、心が折れそうになつた時もありましたが、師長さんをはじめ、スタッフの皆さん方が温かく迎えてくれました。少しでも患者さん、御家族の方の気持ちに寄り添える看護ができるよう勉強の毎日ですがとても充実しています。

私の原動力となっているのは息子の存在です。訪問看護を始めた頃、幼稚園だった息子は中学3年生になりました。「母ちゃん、母ちゃん」と私にベッタリだった息子も思春期となり一緒に出かけることや会話も少なくなりました。心も身体も成長し親離れをしようとしている息子を嬉しく思う反面、子離れできない母は寂しくて、小さい頃の写真や息子が書いてくれた手紙を見ては涙したり、子離れ完了までにはまだまだ程遠い感じです。

でも、勉強や部活のバスケットボールに一生懸命に取り組んでいる息子の姿、時々見せてくれる笑顔、優しさ(私が入るまで玄関のドアを開けてくれていること等々)に元気をもらい、それが私の原動力となっています。



平成29年度 支部活動

【第1支部長 赤松美智代】

支部の看護職連携活動推進事業に重点を置き活動します。昨年度は、医療機関・施設・行政機関に就労する看護職の役割を理解することを目的とし「東讃地域看・看連携」交流会を開催し、互いの組織を理解しあう顔の見える関係づくりを行いました。今年度は更に、顔が見える関係の構築やその関係を生かした情報共有により、シームレスなケアの継続が出来ることを目的に交流会を開催し、事例検討を通して困ったことや気がかりなこと等を直接話し合い、課題解決の方策を見出すこととしたいと思います。

【第2支部長 吉元 和子】

会員数150名と小規模ではありますが、小豆医療圏地域包括ケア連絡会の介護部会との協賛で、島内の看看連携や多職種連携の推進役として活動します。今年度は、講演会を平成29年9月と平成30年2月の2回、予定しており、参加者同士の活発なディスカッションを通じ、より良い地域連携システム構築に貢献したいと考えています。

【第5支部長 塩岡康恵子】

平成29年度の目標を「日本看護協会、香川県看護協会の方針に則り、地域包括ケアシステム構築のため、地域住民の思いを知り看護職の役割を認識する」としました。支部活動として地域住民を含めた多職種連携の交流会等を企画し、看護職が具体的にどのように活動するのかを考えられるような機会を作っています。さらに課題となっている連携のための施設マップを効果的に運用できるよう検討を重ねて目標達成に努めてまいります。

【第5支部】

- ・丸亀市
(坂山町、綾歌町を除く)
- ・多度津町

620名

【第4支部】

- ・坂出市
- ・宇多津町
- ・丸亀市坂山町
- ・高松市国分寺町

750名

【第2支部】

- ・小豆郡

150名

【第7支部】

- ・観音寺市
- ・三豊市

795名

【第6支部】

- ・普通寺市
- ・綾川町
- ・丸亀市綾歌町
- ・まんのう町
- ・琴平町

814名

【第1支部】

- ・さぬき市
- ・東かがわ市

275名

(数字は平成29年7月現在の会員数)

【第3支部長 軍神 弘美】

昨年度から、ようやく地域包括ケアシステムの構築に向けて支部活動をスタートさせることができました。今年度はさらに日本看護協会のモデル事業として「高齢者および認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業」に取組みます。まずはりつりん地区で多職種と情報交換の場を作り、地域の課題を整理しながら、地域包括ケアシステム構築のための看護職連携・地域連携の在り方を検討していきたいと思います。

【第4支部長 池内眞理子】

地域特性を活かした支部活動を中心に施設を越えて在宅医療へつなげ、住民を中心にその人に合ったサービスが提供できるよう看看連携のネットワークの強化を図りつつ、多職種との連携を推進します。

昨年の日本看護協会のモデル事業の成果として顔の見える関係づくりや地域の課題を共有し役割を知ることができたので、小冊子「私の職場紹介」を連携のためのツールとして活用していきます。

【第6支部長 三宅 弘恵】

地域包括ケアにおける看護の機能強化にむけて6支部看護職の連携を進めます。7月にはテーマ「認知症看護の専門性と役割の基礎を学ぶ」として、香川労災病院認知症看護認定看護師吉川明美様に講義をお願いし地域で最も必要な知識を共有しました。そして、11月にはテーマ「在宅支援について」綾川町国民健康保険陶病院院長大原昌樹先生に講義をお願いし、地域での在宅支援に向けて情報共有を図りたいと考えています。

【第7支部長 森安 浩子】

地域包括ケア研修として、平成27年地域包括支援センターの活動報告、平成28年回復期病院からの事例報告、訪問看護ステーションから事例報告の研修を継続してきました。今年度は10月介護老人保健施設と介護老人福祉施設からの看取り・急変時の対応などの事例報告、12月には観音寺・三豊の地域包括ケアシステムの全体像をマクロで考えるための研修を計画しています。地域包括ケアにおける看護の機能強化に向けて活動していきます。

理事会報告

第1回 平成29年5月20日(土) 9:00~12:10

●協議事項

- 平成28年決算報告並びに監査報告（案）（承認）
- 平成29年度定時総会における議長団・議事録署名人
平成30年度選挙管理委員選任（案）（承認）
- 平成29年度職能委員・各種委員の選任（案）（承認）
- セカンドレベル受講者（案）（承認）

第2回 平成29年6月11日(日) 16:45~17:36

(定時総会直後)

●協議事項

- 会長選定（案）（承認）
- 副会長1名の選定（案）（承認）
- 専務理事・常任理事の選定（案）（承認）
- 会長代行及び専務理事代行の優先順位（案）（承認）
- 業務執行理事の業務分担（案）（承認）
- 理事会申し合わせ事項（案）（承認）
- 「特定資産」積み立て（案）（承認）
- 災害看護対策委員会の委員変更（案）（承認）

お知らせ



1 平成29年度協議会等の日程

平成29年8月26日(土)

13:30~15:30 看護代表者協議会 全体会（1）

平成29年12月16日(土)

9:30~12:00 クリニカルラダー取り組み報告会

平成30年2月24日(土)

13:30~15:30 卒業予定の看護学生対象研修会

講師：日本看護協会会长

15:40~17:00 教育部看護代表者協議会

平成30年3月10日(土)

14:00~15:30 平成29年度事業実践報告会

15:40~17:00 看護代表者協議会 全体会（2）

2 日本看護協会の香川県看護協会への委託事業の紹介

1. 地域における看護職のネットワーク強化事業（会員増の活動）

2. 子育て世代包括ケアシステム推進のためのモデル事業（第2支部）

3. 都道府県看護協会地域支部等における高齢者及び認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業（第3支部）

事業実施にあたりましては、皆様方のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

3 研修会のご案内

平成30年度「診療報酬・介護報酬改定説明会」を実施します。

日程：平成30年3月29日（木）4月12日（木）

詳細については、後日ホームページでお知らせします。

4 看護学会

平成29年8月3日（木）4日（金）に第48回日本看護学会一看護教育一学術集会が開催されました。

詳細については、次号のかがわ看護だよりでお知らせします。

編 集 後 記

残暑お見舞い申し上げます。酷暑の中、皆さま如何お過ごしでしょうか？

香川県で日本看護学会一看護教育一学術集会が盛大に執り行われ広報出版委員も参加しました。

今までにない違うアングルからの写真や記事を次号には掲載します。乞うご期待！

5 災害支援ナース登録案内

【災害支援ナースに登録するための研修】

次の研修（基礎編・実務編）を修了していることが必須条件となっています。



1) 基礎編：2日間

災害医療および看護の基礎的事項を理解するとともに、災害看護に必要な知識・技術を習得し、実践できる能力を養う。

【平成29年度研修】

基礎編：8月24日（木）・25日（金） 9:30~16:30

オンデマンド研修：災害支援ナースの第一歩

災害看護の基礎知識

2) 実務編：1日間

災害看護の特殊性を理解すると共に、専門的知識・技術・態度を習得し、被災者および被災地域のために、災害支援ナースとして活躍できる実践能力を習得する。災害支援ナースとしての参加するまでの自己完結の心構えと行動、そして必要な準備について習得する。

実務編：平成30年度開催予定

【災害支援ナースの更新のための研修】

フォローアップ編：半日

災害支援ナースとしてのあり方、現場において行動できる能力を育成する。

【平成29年度研修】

フォローアップ編：10月14日（土）10:00~12:00

テーマ：国外でも役立つ災害医療

～普段からの仕事が大切～

講 師：訪問看護ステーションあした

所長 鎌野倫加 氏

6 第2駐車場ブロック塀破損

6月23日にブロック塀が破損しているのが発見されました。（水田の中に倒れそうでした）

「お心当たりの方は事務局までご連絡下さい」と案内しましたが、未だ申し出はありません。

7 事務局の休館日

8月13日（日）は休館とします。

休館予定日は、その都度ホームページで周知いたします。

8 香川県看護協会への入会をお待ちしております。

目標：50%の入会率（現在45%）（平成29年6月）